

数字 「クロスボーン・ガンダム」

133 式ボール

機体名	133 式ボール	画像
型式番号		
英語名		
所属	地球連邦軍	
パイロット		
装甲材質		
装備	30mm バルカン砲 120mm キャノン×3	
作品名	機動戦士クロスボーン・ガンダム	
参考書籍	G ジェネレーション F	

内容

内容 (G ジェネ)

連邦軍の宇宙用戦闘ポッド。

一年戦争で用いられた「ボール」の末裔にあたる機体である。

武装こそ3連装キャノンに換装されているが基本的な性能は前世紀のボールと大差ない。

U.C.0130年代にあってはもはや有効な戦力とは言い難いが、MSに比べてコストが極めて低く、また搭乗員の訓練も容易である。

そのため、もっぱら「安価な数合わせ兵器」として多数が生産・配備されていたらしい。

木星戦役では新クロスボーン軍や木星帝国との戦闘に投入されたが、性能不足は明らかであり被害も甚大であった。

備考

スペック

項目	内容
全高	
頭頂高	
全長	
本体重量	
全備重量	
ジェネレーター出力	
スラスタ推力	
センサ有効半径	